

# SHODO Super Kids の会 2019 Osaka, Japan



私たちは「日本の書道文化」の  
ユネスコ無形文化遺産登録を  
応援しています。



SSK Australia 2019

... SSK2019団員

その他 会員による活動

... SSK会員



サザンクロス駅から電車25分、徒歩10分  
Sunbury行(9駅)St.Albans 駅下車、Main Rd.を進む。

Period 1+2	8:55~10:35	Y10 (高1)	
	100分	18名	
		Caroline Tran 先生	
Recess	10:40~11:05		
Period 3+4	11:00~12:40	Y9 (中3)	Y9 (中3)
	100分	17名	18名
		ならぎエミ先生	Bron Salton 先生
ランチ	12:50~1:30		
Period 5	1:30~2:20	Y8 (中2)	
	50分	19名	
		ならぎエミ先生	
校内見学・交流			

5時間目も中2の20名クラスが加わり、合同授業となりました。



山 中 優 希  
ト コ  
カ リ ン ペ  
エ ミ 先 生  
な ら ぎ  
宮 坂 裕 香  
幸 田 響 子  
イ ン 先 生  
キ ャ ロ ラ  
河 村 美 緒

作品寄贈  
★「すみの色」 高橋佳央  
★「やせ蛙」 辻 玲重  
★「流螢撲風」 宮坂裕香  
★「豊穡の喜び」 嶋林拓未

私たちのこの活動を当初より支えてくださっている Strathmore校のヒサエ先生がご紹介くださり、St.Albans Secondary Collegeのキャロライン先生にお会いしたのは2014年でした。その時、戦争から逃れてきたベトナム系の家庭が多い地域であることを伺い、先生自身もそうであるとおっしゃいました。その時であった生徒たちは、シャイながらも、私達を心より歓迎してくれて、中でも、村上春樹の言葉を書いてほしい、と言った男子高校生のことは、忘れられません。その言葉は、辛さは避けられないけれど、悲しみはオプションである、...というような内容でした。

今回、キャロライン先生はランチをご用意ください、放課後、おしゃべりをすることもできました。

ご自身はメルボルン生まれのベトナム人であること。日本が大好きで17歳で秋田県に2週間ホームステイし、その後、再度、3週間ホームステイしたこと。日本に住んだ経験はこの2回だけ。そして、とてとても日本語が美しく、なめらかで、生徒たちに日本語を教えておられます。

「私は、日本が大好きです。」  
「私は、この学校が大好きです。生徒たちはとてもかわいい。よくがんばります。」

色白の美しいキャロライン先生は、まるで日本語が母語であるかのように、なめらかに、私達と会話してくだり、団員は、どうしたらこんなに語学を習得できるのだろうか、と真剣に考えはじめました。

# 1+2時間目:Y10(高1)100分

授業進行:カリン・ペトコフ、河村美緒



墨をする



基本の点画を練習



書きたい文字を練習

